



わが街 Watching

第8回ジュニアボランティアスクール

なにができるか考えよう

8月10、11日に、スマイルプラザ田川でジュニアボランティアスクールが開催され、小学生19人が参加しました。これは、子どもたちに、障害のある人がどんなことで困っているか、どうすれば困ることのないまちにすることができるかを考えてもらうために毎年行なっているものです。

アイマスクをしたり、車いすに乗ったりしてまちにでた子どもたちは、排水のために傾いた道路や歩道の段差などに苦勞し、不便さを実感していました。

参加した池田翔之君(金川小5年)は、「目が見えない人は、道路を歩くのが怖いだろうと思った。困っているときは手助けをしたい」と話していました。

宮尾ゲートボールチームが表敬訪問

目指すは優勝!

第30回福岡県老人クラブゲートボール大会で優勝し、9月5日から北海道で開催される「ねんりんピック北海道・札幌2009大会」に出場する「老人クラブ宮尾チーム」が、8月17日市役所を訪れ、伊藤信勝市長に県大会優勝とねんりんピック出場を報告しました。

ねんりんピックは、60歳以上の高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典で毎年都道府県の持ち回りで開催され、今年で22回目となります。

宮尾チームは、毎朝5時30分から8時30分まで3時間みっちり練習しており、「全国大会に出場するからには、目指すは優勝です」と抱負を語りました。



▲県大会での優勝を報告



▲白熱したプレーが続いたキックベースボール

田川市子ども会中央球技大会

暑さなんかぶっ飛ばせ

8月16日、鎮西中学校グラウンドで市内の小中学生237人が参加して中央球技大会が開催されました。

息詰まる熱戦の末、男子キックベースボールは「城山ダンチーズ」(鎮西校区)、女子キックベースボールは「大浦ふれんど」(大浦校区)、男子ソフトボールは「桐ヶ丘」(伊田校区)が優勝しました。

「城山ダンチーズ」主将の宮本永吉君(鎮西小6年)は「先輩の中学生が監督で、7月中旬から毎日練習しました。最後の対戦チームは強かったけど勝って良かった」と優勝を喜んでいました。男女キックベースボールの1、2位は9月13日に開催される筑豊ブロック大会に出場します。

TAGAWAエントツライブ

真夏の暑さを吹き飛ばせ

8月2日、真夏の太陽が照りつける中、二本煙突の真下で、TAGAWAエントツライブが開かれました。

県内外から出演した12組のグループが、石炭記念公園野外ステージで、思い思いのパフォーマンスを披露。

会場内では、ホルモン焼きやカレー、フリーマーケットなどの出店が立ちならび、来場者は声援を送ったり、食事をしたりしながら野外ライブを満喫。

このイベントを企画したTAGAWAエントツライブ実行委員会は、「このライブをたがわ発信のツールとして、音楽を通して田川の交流人口を増やしていきたい」と熱い思いを語りました。



▶二本煙突の下で熱いパフォーマンスが繰り広げられました

田川地区消防署が水難救助訓練

水難シーズンを前に

7月13日～16日、彦山川高柳堰で田川地区消防署が水難救助訓練を行いました。

田川管内では過去3年間で9件の水難事故による死亡事故が発生しています。

今回、水難シーズンを迎えるにあたり、出動体勢の迅速化および潜水技術、救助技術の向上を目的に総合的訓練として実施しました。

訓練では夜勤明けの隊員約10人が、今回新しく取り入れたバックボードを用いた訓練を実施。このバックボードは要救助者の収容時の体への負担を軽減するためのもので、隊員たちは汗を流しながら熱心に訓練を行っていました。



▲真剣な表情で訓練に取り組む隊員たち

まちづくりワークショップ開催

協働のまちづくりを目指して

平成23年策定予定の、田川市第5次総合計画に、市民の多様な意見を反映させるための、まちづくりワークショップが、8月8日、市民会館で開催されました。

この日は、27人の委員のうち19人が参加し、自己紹介やこれからの田川市の課題・目指すべき将来像についての意見交換を行いました。

伊藤信勝市長は、「まちづくりは、市民の理解と協力が不可欠であり、行政だけではできない。このワークショップでまちづくりに対する思いを思う存分出して欲しい」とあいさつ。

今後は11月まで月2回のペースでワークショップを開催し、意見をまとめた報告書を市長に提出する予定です。



▲メモをとりながら熱心に聞き入る参加者たち